

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年4月25日 No.46

すみやか
署名

「さくら祭」で1800人から集める 新婦人・相模原支部

「70万人のふるさとづくり」～人・もの・自然、すべての共生をもとめて～のコンセプトのもと、市役所さくら通りを主会場に行われた第35回相模原市民桜まつりで新婦人相模原支部が宣伝行動を行いました。

40万人の観光客があつまる第35回相模原市民桜まつりに際し、平和部が1班1班に参加を訴え、28班から67人が参加。「国連にこの署名を届けます」と「すみやか」署名を訴えると、足が次々止まり、史上最大の人数である1806筆が集まりました。新しく支部委員になったことでこの日署名デビューの若い会員Aさん(赤ちゃん小組出身)は、「署名を訴えても無理って思ったけど、“壁”をつくっていたのは私だったんですね」と確信に。行動では「原爆パネル」と「エコ&ピース」紙芝居(1ページから4ページまでセリフつき)も貼りだし、注目を集めました。(新婦人活動推進ファクスニュースNO.90より)



G8洞爺湖サミットへの申し入れに市町村から賛同 50周年記念国民平和大行進北海道実行委員会

50周年記念国民平和大行進北海道実行委員会は4月4日、行進通過自治体に対し、7月のG8洞爺湖サミット開催にあたり、開催国であり、唯一の被爆国でもある日本政府が首脳会議および関連する閣僚会合で「核兵器廃絶」を議題として提起し、2010年NPT再検討会議に向けて、交渉の開始をはじめ、核兵器廃絶の具体的な道筋を提唱するよう福田首相にもとめる申し入れへの賛同のお願いを發表しました。また、同実行委員会は被爆者代表を発言に招き、原爆写真展の併設など核兵器の惨禍の実相を広く国際的に知らせるために、尽力するようよびかけています。

全国に先がけて4月21日に北海道の猿払村を出発し、翌22日紋別市まで歩く網の目平和行進(オホーツク海コース)では、7市町村長をはじめ、副首長、議会議長、教育長17人から賛同署名が寄せられました。

また、同行進の中では、「すみやか」署名17筆、ペナント19本が寄せられました。「若い世代は、広島・長崎の原爆のことを知らない人が多くなった。」「戦後63年。原爆でまだ苦しんでいる人がいるなんて...。核兵器をなくすことです」と会話。また、「原爆の実物大の模型を作り、展示を考えている」(紋別市)、「小学生が佐賀県・武雄市と交流。長崎の資料館を見学している。若い人に悲惨な現実を見てもらふことは大切です」などの取り組みも話し激励され、51回目の平和行進に誇りを強くしています。(小川基弘)

神奈川 横須賀住民投票条例の市議会採択求める首都圏アクション開催日変更

3月6日から1ヶ月間行われた第2次直接請求運動「原子力空母配備の是非と安全性を問う住民投票条例制定を求める」署名活動は、5万2417筆の署名を集め、4月11日に選挙管理委員会に提出されました。署名活動は、5万2417筆の署名を集め、4月11日の正式発表があり、直接請求は成立しました。同24日、有効署名数が48661筆(92.8%)と「求」を受け、同12日からの「臨時市議会」にて条例案が審議される予定です。これにもない、24日に開催される予定だった横須賀集会「住民投票でゲンキ!首都圏アクション」は、急ぎよ前倒しで11日開催に変更となりました。

5月11日(日)午後2時 ウェルニ公園